

「A・N ケアクリーム」による乾皮症の予防
— アトピー性皮膚炎及び老人性乾皮症にみられる乾皮症の予防について —

近畿大学医学部皮膚科学教室

崔 昌益 朴 玉蘭 手塚 正

「A・N ケアクリーム」による乾皮症の予防

—アトピー性皮膚炎及び老人性乾皮症にみられる乾皮症の予防について—

崔 昌益 朴 玉蘭 手塚 正

アトピー性皮膚炎, 老人性乾皮症などの症例の皮膚乾燥症状の予防を目的に開発された「A・N ケアクリーム」の有用性と安全性を検討した。対象はアトピー性皮膚炎患者9例, 老人性乾皮症患者5例ならびに正常対照としての健康成人8例であった。上記製品を1日2回, 下腿前面に単純塗擦させ, これを1週間継続使用させた後, 下腿前面皮膚角層表面水分量を外用前後で測定することで有用性を検討した。全例において臨床症状が正常化し, 角層表面水分量は統計学的に有意な上昇を示し健康正常人に近い値を示した。また, 全例において副作用は認められなかった。「A・N ケアクリーム」はアトピー性皮膚炎, 老人性乾皮症などの乾燥症状の予防に安全で, 有用な外用剤と結論された。

(皮膚, 38: 464-468, 1996)

キーワード: AN ケアクリーム, アトピー性皮膚炎, 老人性乾皮症, 角層表面水分量

はじめに

アトピー性皮膚炎患者, 老人性乾皮症患者では皮膚が乾燥し易く, 特に前者では夏期でも皮膚表面は意外と乾燥している。この様な症例では冬の乾燥環境下や外界の刺激により容易に皮膚炎症状の発現や悪化をもたらす^{1,2)}。また, 保水因子の前駆体としてのフィラグリン量^{3,4)}や角層表面水分量^{5,6)}, 角層細胞間脂質量⁷⁾は正常人に比べ有意に低く, 経表皮水分蒸散量は正常人に比べ有意に高いことが明らかになっている。従って冬期には日常スキンケアを行う必要があり, その製品には安全性に優れ, 皮膚の乾燥を防止する製剤を用いる必要がある。

「A・N ケアクリーム」は「株式会社くれえる」により乾皮症の予防外用剤として開発され, 既に販売されている保湿外用剤である。今回, 我々はアトピー性皮膚炎患者と老人性乾皮症患者を対象に「A・N ケアクリーム」の補湿効果を角層表面水分量を使用前後で測定する方法

で検討し, その有用性を見いだしたので報告する。

試験方法

1. 試験施設及び試験期間 本試験は1996年2月から4月までの2ヵ月間にわたり, 近畿大学医学部皮膚科において実施された。

2. 対象患者 17歳から30歳までのアトピー性皮膚炎患者9人と51歳から72歳までの老人性乾皮症患者5人及び正常対照としての健康成人8人を対象とした。

なお, 担当医は本試験の開始に先立ち, 対象患者に試験の目的と方法, 予期される効果と危険性などについて説明したうえで, 本試験への参加について, 自由意志による同意を得た。

解析対象とした14例の患者背景はTable 1に示した。疾患別ではアトピー性皮膚炎患者が9例で, 老人性乾皮症患者は5例であった。性別では男性7例, 女性7例で, 年齢は17歳から72歳であった。

3. 試験剤, 投与方法と投与期間 試験剤は「株式会社くれえる」より乾皮症の予防剤として販売されている保湿クリーム「A・N ケアクリーム」で, 毎日朝晩2回, 下腿前面に単純塗布することとした。投与期間は原則と

Cui CHANG-Yi, M. D., Piao YU-LAN, M. D. and Tadashi TEZUKA, M. D.

近畿大学医学部皮膚科学教室 (主任: 手塚 正教授)

〒589 大阪狭山市大野東 377-2

1996年4月27日掲載決定

Table 1 Table 1. Summary of the Skin Conditions of the Whole Patients

性別	年齢	疾患	試験開始時乾燥状態	そ痒	秕糠様落屑	紅斑	丘疹	
1	女	27	アトピー性皮膚炎	++	++	+	-	-
2	女	21	アトピー性皮膚炎	++	++	+	-	-
3	女	30	アトピー性皮膚炎	++	++	+	-	-
4	男	24	アトピー性皮膚炎	++	++	+	-	-
5	女	22	アトピー性皮膚炎	+	+	+	-	-
6	女	18	アトピー性皮膚炎	+	+	+	-	-
7	男	22	アトピー性皮膚炎	+++	++	+	-	-
8	女	17	アトピー性皮膚炎	+	+	+	-	-
9	男	30	アトピー性皮膚炎	+	+	+	-	-
10	女	51	老人性乾皮症	+	+	+	-	-
11	男	62	老人性乾皮症	++	++	+	-	-
12	男	68	老人性乾皮症	++	++	+	-	-
13	男	60	老人性乾皮症	+	+	+	-	-
14	男	72	老人性乾皮症	++	++	+	-	-

+++ : 高度 ++ : 中等度 + : 軽度

して1週間とした。

4. 観察項目

1) 患者背景 試験開始前に年齢, 性別, 入院外来の別, 合併症, アレルギー反応の既往症, 今回来院するまでの治療の有無を調査した。

2) 症状 試験開始時, 試験開始1週間後及び2週間後に乾燥度(カサカサ感), 鱗屑, 掻痒の程度を次の4段階で判定した。

+++ : 高度 ++ : 中等度 + : 軽度 - : なし

3) 副作用 試験剤投与期間中に新たな随伴症状が発現した場合は試験剤との関連性を下記の4分類のいずれかに判定し, 試験剤との関連を否定出来ないものを副作用とした。

- (1) 明らかに関連あり
- (2) 多分関連あり
- (3) 関連不明
- (4) 関連なし

5. 評価方法

1) 皮膚症状改善度 試験開始1週間後及び2週間後の時点で試験開始時からの乾燥, 鱗屑, 紅斑の程度の推移を総合的に評価したうえで次の5段階で判定した。

- 1 : 著明改善 2 : 改善 3 : やや改善 4 : 不変 5 : 悪化

2) 角層表面水分量の測定 臨床症状の変化を肉眼以外の方法で検討する目的で膝から約10cm下の下腿外側部に直径2cmの丸をマジックペンで描き, この部分を毎回測定した。測定の一週間前から下腿部に他の外用剤の使用を禁止し, 試験剤のみ投与することとした。測定当日の朝は試験剤の使用を中止し, 最後の試験剤

の投与から15時間以後に角層表面水分量の測定を行った。患者はまず温度18°C, 湿度25-35%に設定した部屋に入り, 測定部位を露出後10分間, 安静にした状態で待ち, その後2分間隔で3回測定し, 平均値を取った。試験開始前, 試験開始1週間後及び2週間後に同一部位の角層水分量を測定し, student t-test法で有意差を検討した。

角層表面水分量の測定にはI・B・S社のskin surface hygrometer skicon-200を用いた。

結 果

1. 皮膚症状改善度 アトピー性皮膚炎患者と老人性乾皮症患者全例において, 使用前のカサカサ感, 落屑, 掻痒は「A・Nケアクリーム」の7日間の使用により消失し, 4例で著明改善, 10例で改善(全例++, 又は+より-へ変化)を認め, 皮膚表面は滑らかでしっとりとなった。

2. 副作用 全例において試験剤と関連すると判断される副作用は認められなかった。

3. 角層水分量の測定 全症例において角層水分量の増加が認められた(Fig. 1)。また, アトピー性皮膚炎, 老人性乾皮症共に統計学的に有意な角層水分量の改善が認められた(Figs. 2,3)。

尚, 健康成人においては, 試験剤投与前の角層表面水分量が $22.5 \pm 6.3 \mu s$ だったのに対し, 「A・Nケアクリーム」使用後は $25.3 \pm 3.4 \mu s$ と軽度の増加を示したものの, 有意な変化は認められなかった。

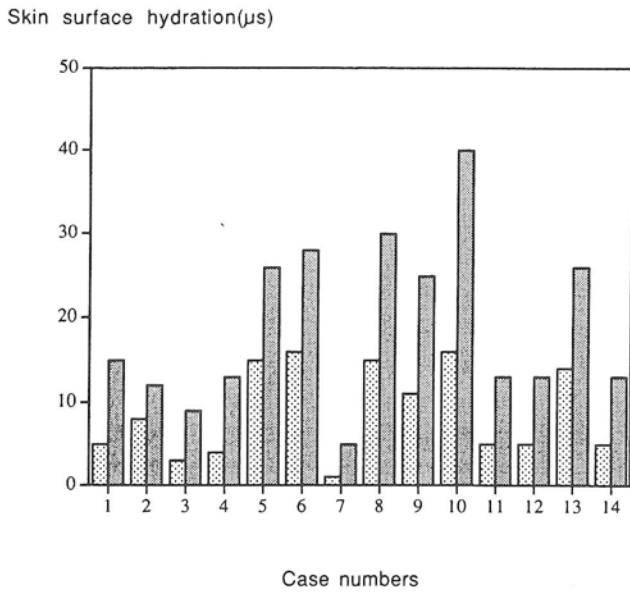


Fig. 1 Comparison of skin surface hydration level before and after the treatment with "the A·N care cream" in each patient is shown. The left and right column indicate the value of skin surface hydration before and after the treatment with "the AN care cream", respectively.

Skin surface hydration(µs)

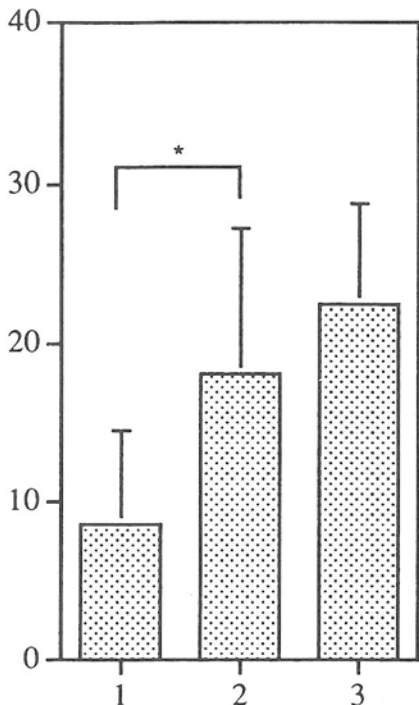


Fig. 2 Comparison of the value of skin surface hydration before and after the treatment with "the AN care cream" in atopic dermatitis patients is shown. 1 : the value before the treatment with "the AN care cream" 2 : the value one week after the topical application of "the AN care cream" 3 : Control, the value of normal persons * : p < 0.01, none paired t-test

Skin surface hydration(µs)

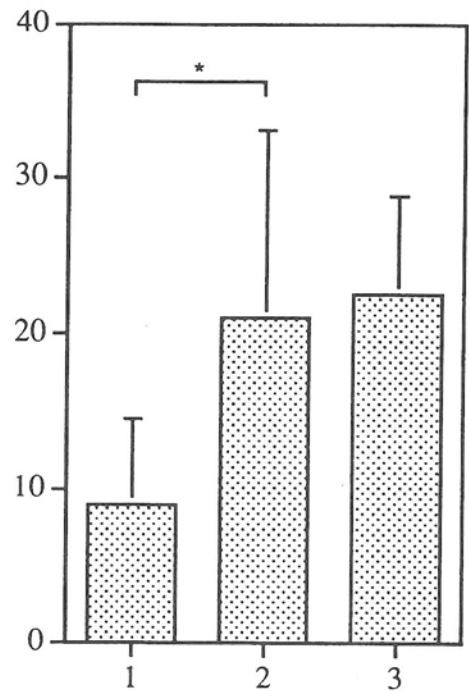


Fig. 3 Comparison of the value of skin surface hydration before and after treatment with "the AN care cream" in xerosis senilis patients is shown. 1 : the value before treatment with "the AN care cream" 2 : the value one week after the topical application of "the AN care cream" 3 : Controls, the value of normal persons * : p < 0.05, none paired t-test

考 察

アトピー性皮膚炎患者や老人性乾皮症患者などでは皮膚の乾燥症状が強く、角層表面水分量が低下し、経表皮水分蒸散量 (TEWL) は正常人の約二割増であり、バリアー機能が低下している^{3~5)}。そのため刺激により痒みが生じやすく、激しい搔破により皮膚炎を惹起したり (冬期湿疹)、皮膚炎を増悪させたりする¹²⁾。従ってこのようなアトピー性皮膚炎や老人性乾皮症の症例では特に空気が乾燥する冬期に皮膚の乾燥を防止する目的で安全性の高い補湿外用剤でスキンケアを行う必要がある。今回評価した「A・Nケアクリーム」は症状を悪化させた症例がなく、副作用も認められず、安全性及び乾皮症症状の改善度で高い評価を得た。今回の試験ではいずれの症例も臨床症状が改善し、また、角層表面水分量もほぼ正常人の値まで回復し、外用前後の値は統計学的に有意な改善を認めた。アトピー性皮膚炎や冬期湿疹などの予防に原因の一つである乾皮症症状を除去するのに有効

な補湿剤の外用を行うことは極めて重要である。この意味において、「A・Nケアクリーム」はアトピー性皮膚炎、老人性乾皮症などにみられる皮膚の乾燥状態の予防に有用な外用剤と結論された。

参考文献

1. 手塚 正：ドライスキンとそのスキンケア，第4回日本アレルギー学会春季臨床集会，プレコングレンスシンポジウムII記録集，14-15，1992
2. 須貝哲郎：アトピー性皮膚炎と接触性皮膚炎，皮膚科MOOK No1，金原出版，東京，1985，163-167
3. 方 甘棠：加齢に伴った顔面皮膚の変化，低温（15℃）における角層表面水分量とフィラグリン量の変化について，皮膚，30：455-460，1988
4. Seguchi T, Cui C-Y, Kusuda S, Takahashi M, Aisu K, Tezuka T : Decreased filaggrin production in atopic skin, Arch Dermatol Res, In press
5. 手塚 正, 方 甘棠, 山村達郎, 正木 仁, 左近健一, 鈴木一成：種々の皮膚疾患の経表皮水分蒸発量 (TEWL) の変化, 皮膚, 31 : 153-156, 1989
6. Yamamura T, Masaki H, Sakon K, Suzuki K, Tezuka T : Simple monochromatic refractometer for trans-epidermal water loss (TEWL), J Dermatol Sci, 1 : 201-206, 1990
7. Watanabe M, Tagami H, Horii I, Takahashi M, Kligman A M : Functional analyses of the superficial stratum corneum in atopic xerosis, Arch Dermatol, 127 : 1689-1692, 1991
8. Imokawa G, Abe A, Jin K, Higaki Y, Kawashima M, Hidano A : Decreased level of ceramides in stratum corneum of atopic dermatitis : An etiologic factor in atopic dry skin?, J Invest Dermatol, 96 : 523-526, 1991

Clinical Evaluation of “A • N Care Cream” in Xerosis Dermatoses, Atopic Xerosis and Senile Xerosis

Cui Chang-Y, Piao Yu-Lan and Tadashi Tezuka

Department of Dermatology, Kinki University School of Medicine
377-2, Onohigashi, Osaka-Sayama, Osaka 589, Japan

Key words : *A • N care cream, xerosis senilis, atopic xerosis, skin surface hydration*

The clinical safety and usefulness of “the AN care cream” for preventing xerotic dermatoses from the xerotic skin conditions were evaluated by measuring the skin surface hydration. Nine atopic xerosis, and 5 xerosis senilis patients were examined for this study. “The AN care cream” was simply applied to the skin twice a day for 1 week, and their skin conditions were monitored. The skin conditions of the whole patients improved significantly near to the normal level, and skin surface hydration was significantly higher than that before treatment with “the AN care cream”. We concluded that “the AN care cream” was safe and useful for the prophylactic of xerotic skin conditions.

Skin Research, 38 : 464-468, 1996